



ミライアル株式会社

ミライアル株式会社

2027年1月期 第2四半期 決算説明資料

2026年9月8日

- 01 — 会社概要**
- 02 — 事業内容**
- 03 — 2027年1月期第2四半期決算概要**
- 04 — 2027年1月期第3四半期連結業績予想**
- 05 — 配当について**

商 号	ミライアル株式会社
資 本 金	11億1,100万円
代 表 者	兵部 匡俊
設 立	1968年7月
所 在 地	〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-24-1 ニッセイ池袋ビル
連 絡 先	03-3986-3782（代表）
従 業 員 数	323名 ※2026年1月31日現在（単体）
事 業 内 容	高機能樹脂製品の開発および製造販売 金型の製造販売 その他事業

高機能樹脂製品の
開発を通して、
革新的な価値を
ご提案します。

Since 1968



プラスチック成形事業

半導体関連製品、フルイドシ
ステム製品、電子部品、金型

売上構成比率

90.5%



成形機事業

縦型射出成形機を中心とした
成形機、金型、関連製品

売上構成比率

9.5%

経営成績の概況

- 生成AIを主因とした半導体半導体市場の拡大を背景に、プラスチック成形事業の売上が伸長
- 売上の増加、採算性の好転により調整後営業利益は、前年同期から91.7%の増益

売上高

79.8億円

前年同期比 +25.9%

プラスチック成形事業

73.5億円

前年同期比 +29.6%

成形機事業

7.7億円

前年同期比 +1.5%

調整後
営業利益
(営業利益)**6.4億円**

前年同期比 +91.7%

(5.5億円)

(前年同期比 +67.3%)

※調整後営業利益：営業利益＋のれん償却費＋M&Aに係る諸経費

損益計算書（P/L）

（百万円）

	2026年1月期		2027年1月期	前年同期比
	第2四半期	通期	第2四半期	
売上高	6,340	12,572	7,983	+ 25.9%
調整後営業利益 (営業利益)	334 (334)	511 (511)	640 (559)	+ 91.7% (+ 67.3%)
経常利益	362	590	560	+ 54.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	283	606	431	+ 52.0%

※調整後営業利益：営業利益＋のれん償却費＋M&Aに係る諸経費

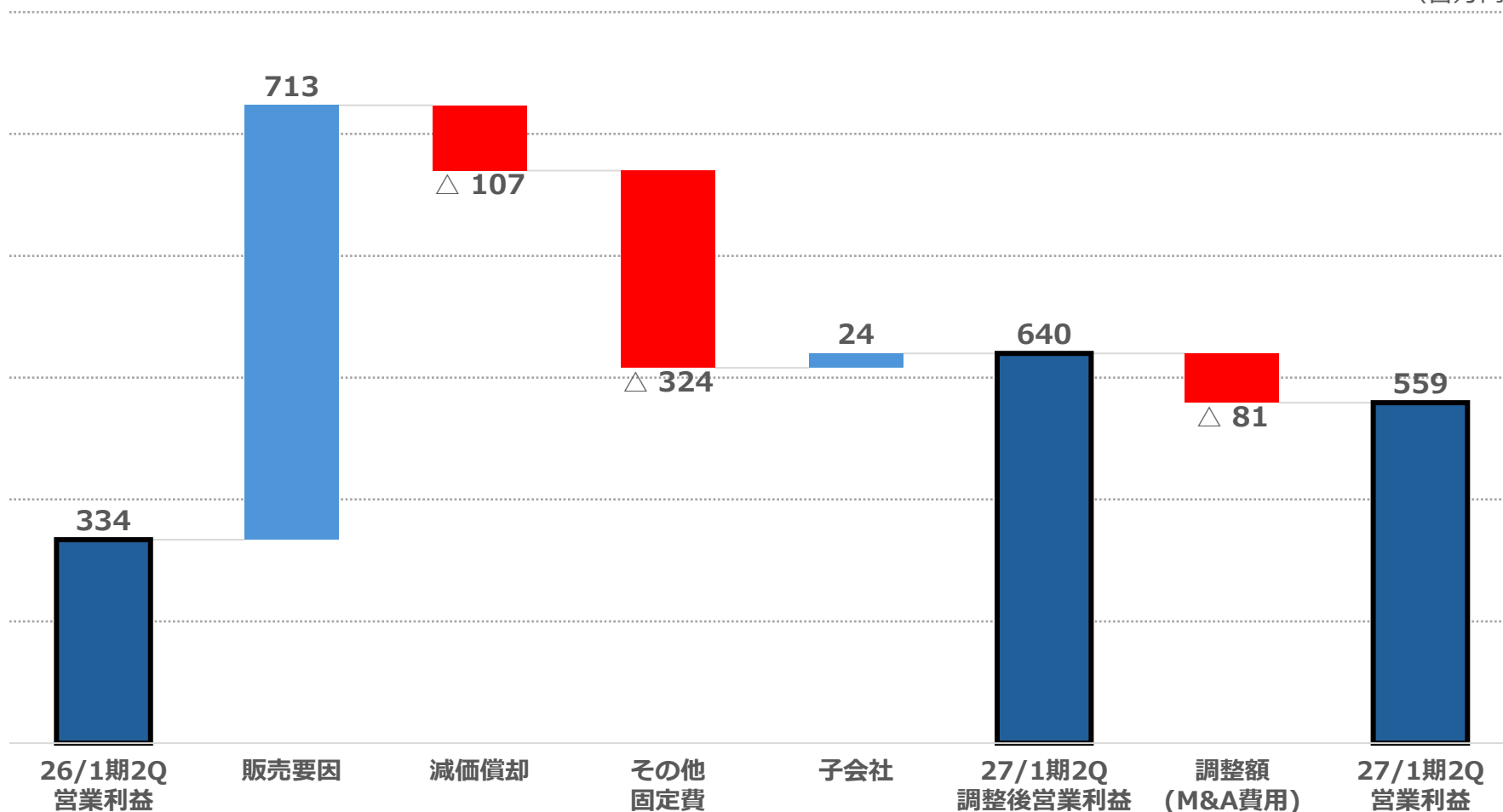
売上高・調整後営業利益の四半期推移

(百万円)



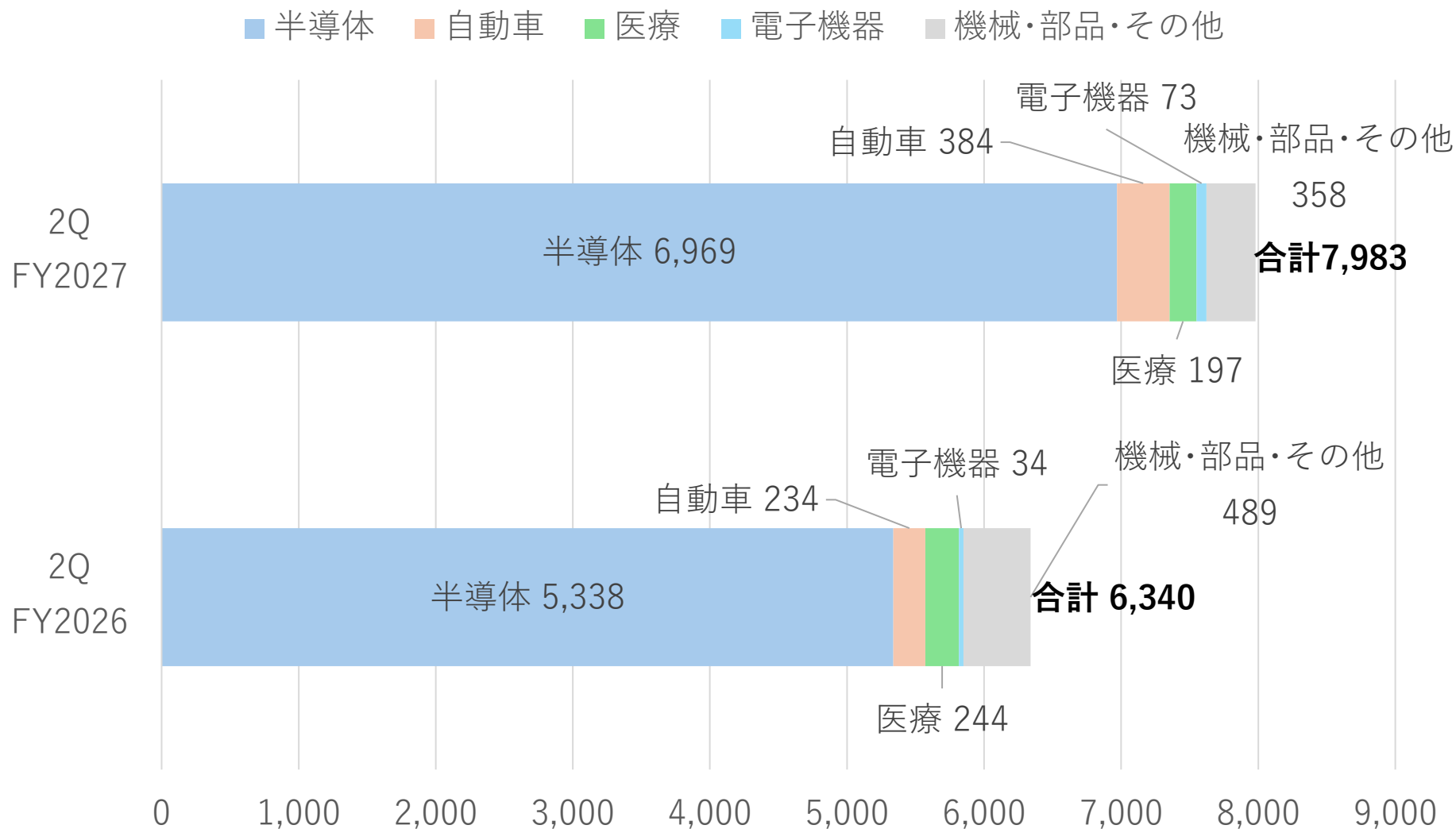
調整後営業利益の増減要因

(百万円)



市場別売上高の内訳

(百万円)



セグメント別状況

- プラスチック成形事業

生成AI向けデータセンター投資拡大を背景とした先端半導体需要の増加に加え、汎用品を中心とした既存品需要についても在庫調整の進展に伴い大きく増収
- 成形機事業

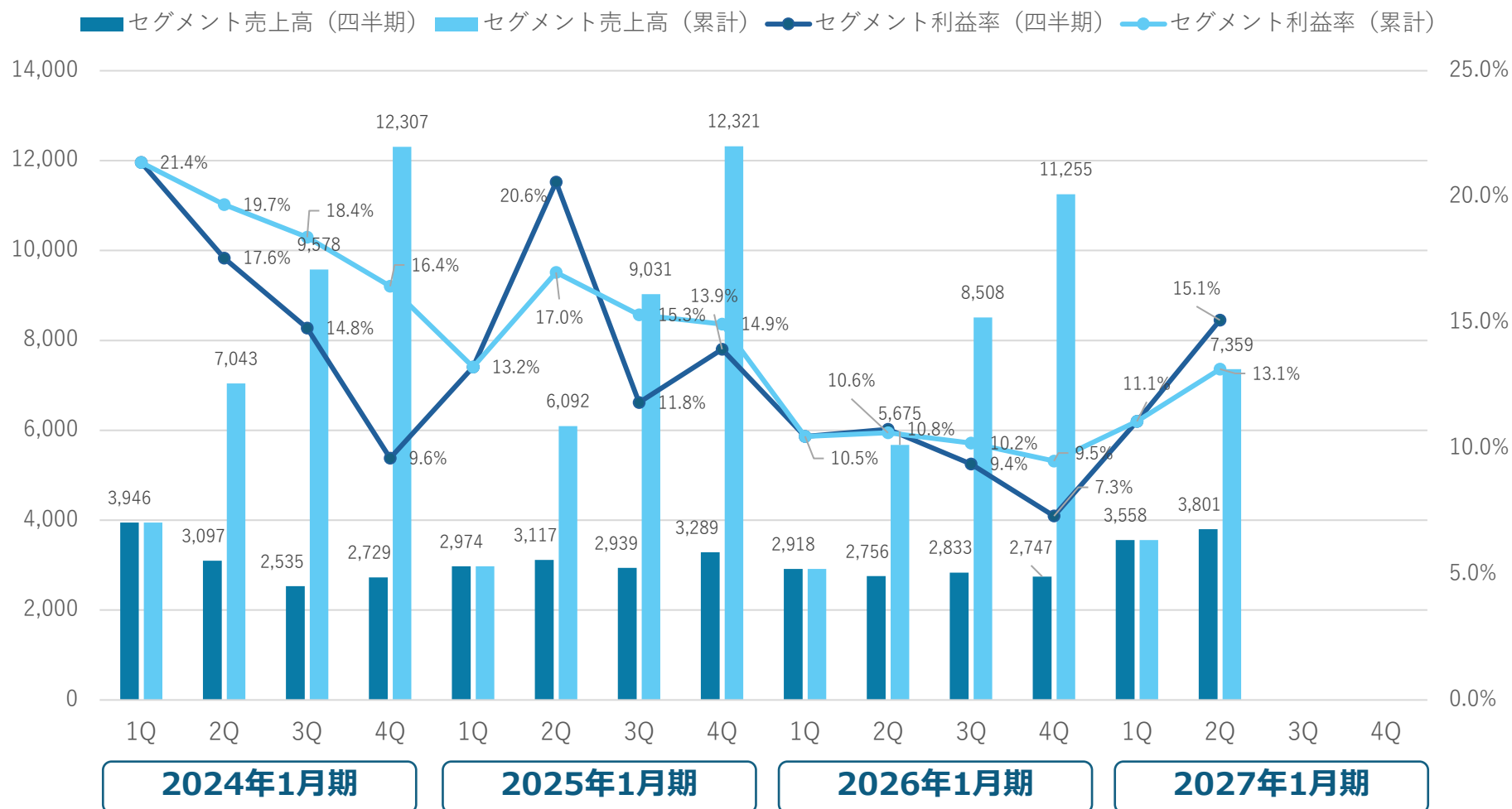
自動車業界におけるEVへのシフトが減速するなど不透明な状況の中、前年から増収

(百万円)

	2026年1月期 第2四半期累計期間		2027年1月期 第2四半期累計期間		前年同期比	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	売上高	率 (%)
プラスチック成形事業	5,675	88.1	7,359	90.5	+ 1,684	+ 29.7
成形機事業	763	11.9	774	9.5	+ 11	+ 1.5
合 計	6,438	100.0	8,134	100.0	+ 1,695	+ 26.3

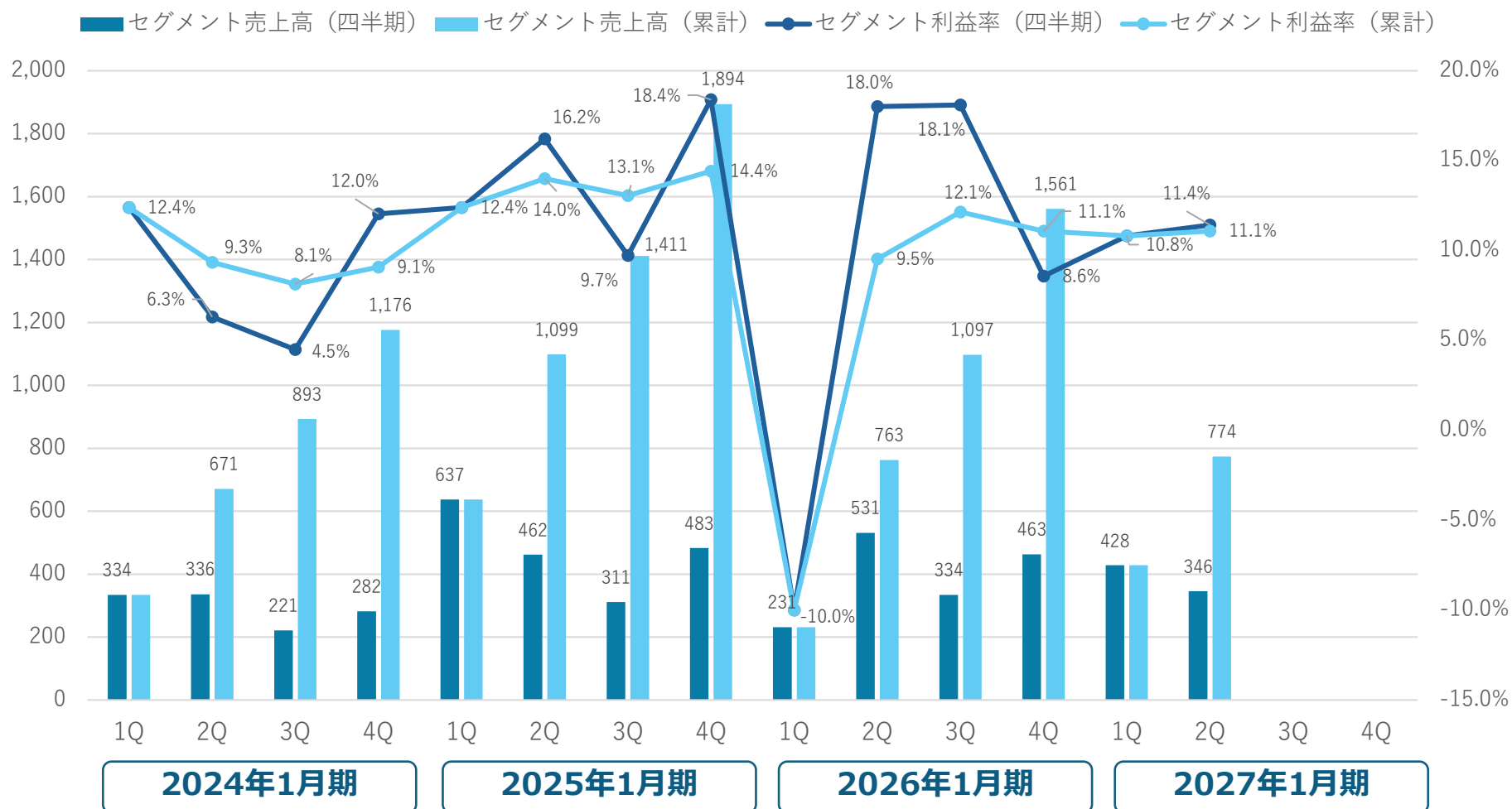
セグメント別状況 -プラスチック成形事業-

(百万円)



セグメント別状況 -成形機事業-

(百万円)



貸借対照表 (B/S)

- ・自己株式 5億の取得を実施
- ・M&A用に19億の外部借入を実施

(百万円)

資産の部	2026年1月期	2027年1月期 第2四半期	増減
流動資産	10,603	12,880	+2,276
現金及び預金	4,703	5,780	+1,077
売上債権	3,069	3,941	+871
棚卸資産	2,475	2,990	+515
その他	356	168	△188
固定資産	16,225	18,609	+2,384
有形固定資産	15,560	17,103	+1,543
無形固定資産	66	938	+871
投資その他の資産	598	567	△30
資産合計	26,829	31,489	+4,660

負債・純資産の部	2026年1月期	2027年1月期 第2四半期	増減
流動負債	3,296	5,331	+2,035
仕入債務	1,528	2,743	+1,214
借入金等(流動)	0	577	+577
その他	1,767	2,010	+242
固定負債	543	3,690	3,147
借入金等(固定)	-	2,753	+2,753
その他固定負債	543	937	+394
負債合計	3,839	9,022	+5,183
株主資本	22,711	22,294	△416
内 利益剰余金	21,981	21,778	△202
その他の包括利益累計額	277	172	△105
純資産合計	22,989	22,467	△522
負債・純資産合計	26,829	31,489	+4,660

布谷グループ新規連結影響

流動資産：+2,018

流動負債：+ 930

固定資産：+1,529

固定負債：+1,476

のれん : + 826

自己資本比率

85.7%

71.3%

△14.3%

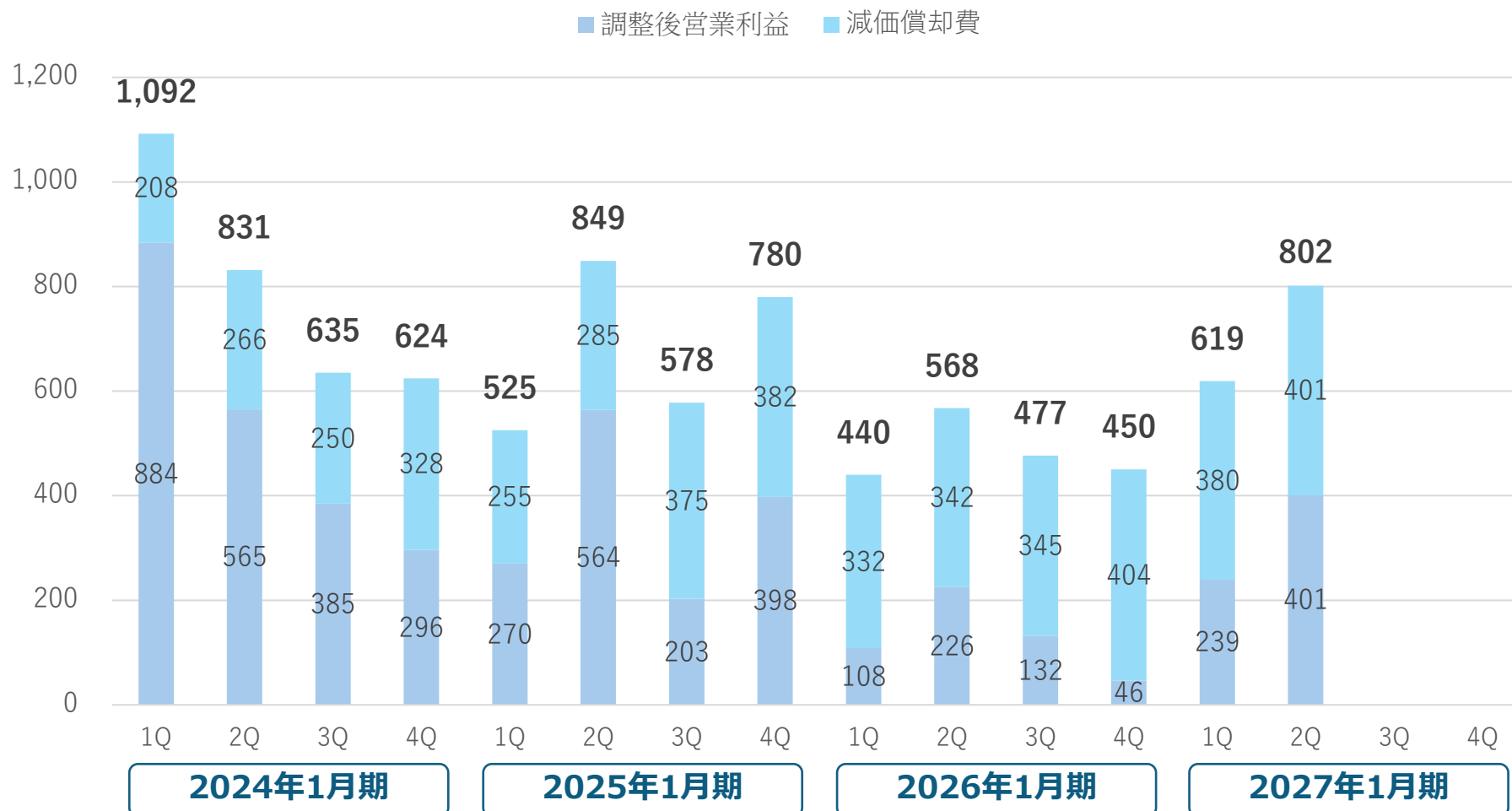
キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2026年1月期2Q	2027年1月期2Q	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	683	2,205	1,522
内 税金等調整前当期純利益	359	677	317
内 減価償却費	673	780	106
内 売上債権の増減額(△は増加)	667	△284	△951
内 仕入債務の増減額(△は減少)	△660	644	1,304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,594	△2,228	△634
内 固定資産の取得による支出	△1,592	△1,407	185
内 子会社株式の取得による支出	-	△1,057	△1,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	976	1,165
内 長期借入れによる収入	-	1,852	1,852
内 配当金の支払額	△180	△361	△181
内 自己株式の取得による支出	-	△505	△505
現金及び現金同等物の期首残高	6,474	4,703	△1,771
現金及び現金同等物の期末残高	5,369	5,660	291

EBITDAの推移（会計期間）

（百万円）



業績予想

■売上高

- ・プラスチック成形事業

AI関連を中心とした先端品の需要の拡大に加え、既存品の需要回復もあり、増収の拡大を見込む

- ・成形機事業

設備投資需要の持ち直しがあるものの、自動車業界の動向に不透明感が残ることもあり、緩やかな増収

- ・布谷船用計器工業グループ

造船分野は「日本成長戦略」における17の戦略分野の一つに位置付けられており、今後の需要拡大を想定

■営業利益／経常利益

売上高の増収効果に加え、生産効率の改善により、前年同期実績に対し増益を見込む

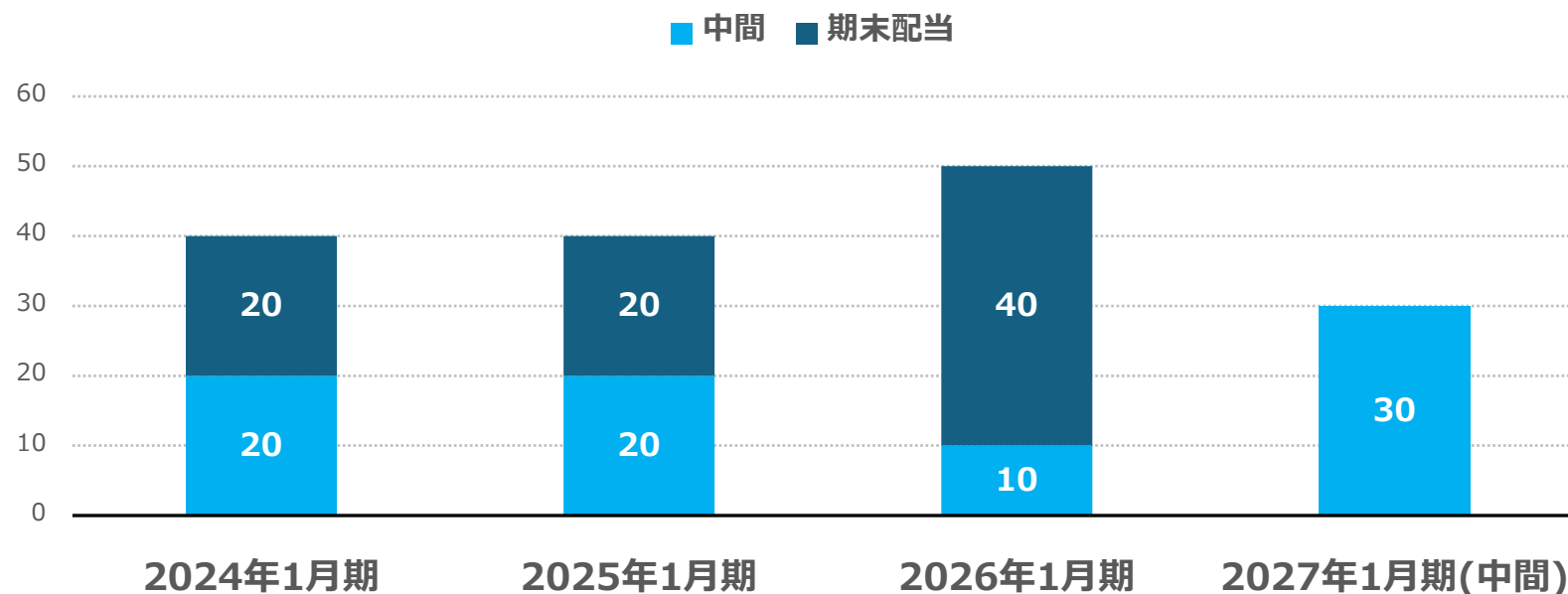
(百万円)

	2026年1月期 第3四半期（実績）	2027年1月期 第3四半期（予想）	前年同期比（%）
売上高	9,402	13,050	+ 38.8
調整後営業利益 (営業利益)	465 (465)	1,280 (1,170)	+ 174.8 (+ 151.4)
経常利益	519	1,180	+ 127.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	397	850	+ 113.8

※当社の主力事業である半導体業界は、事業環境が短期間で大きく変動するという特徴があるため、業績予想につきましては、翌四半期累計期間の連結業績予想のみを開示する方針としています

配当金の推移

- DOE基準を導入し、半導体市況のボラティリティに左右されない配当額の安定化を図ります
- 27年1月期の中間配当は30円に決定しました（配当性向62.4%、DOE1.2%に相当し、DOEは通期で2%超を前提としています）



配当性向

35.2%

34.1%

74.5%

62.4%※

※期末配当につきましては、第3四半期決算の開示時に公表する予定です

本資料の取り扱いについて

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

URL <https://www.miraial.co.jp/>